

—写真に見る 32 年のあゆみ—

I 1982～1990（婦人総合センター時代）

II 1991～2000（女性センター事業拡大期）

III 2001～2014（女性センター事業純化期）

※ キャプションに表記の肩書き等は全て当時のものです

-1982~1990-

<主な出来事>

- ・ 婦人総合センター開館
- ・ 国籍法・戸籍法改正（父系血統主義を改め父母両系主義へ）
- ・ 男女雇用機会均等法公布・施行
- ・ 女子差別撤廃条約批准



- 82年に開催された「新しい仕事づくりの可能性—女性の能力開発・地域社会の充実—」座談会。高齢化社会の到来やライフサイクルの変化などに対応して生きがいのある豊かな生活を確保するために、女性の潜在能力や生活体験を新たな職業創出にどう生かすかについて議論が行われた。出席者に久場嬉子東京学芸大学助教授（右から3人目）



- 83年、「生活の質を考えるわたしの主張」をテーマに論文募集を行い、同11月、センター開館1周年記念事業としてつどいを開催。入選作品の発表と表彰式を行った。



- 同じく83年、開館1周年事業として「新しい仕事づくりの可能性—女性の能力開発・地域社会の充実—」をテーマに座談会が行われた。



- 84年5月開催、国際婦人問題パネルディスカッション「豊かな女性の誕生 仕事・家庭・そして愛」。左から矢口純氏、ダチア・マライニ氏、瀬戸内寂聴氏。



- 84年10月、婦人労働週間の一環として、神奈川女性会議、神奈川婦人少年室の協賛で、婦人労働問題公開討論会「雇用における男女平等を考える」を開催。

国連婦人の十年 最終記念シンポジウム ‘85 江の島会議「女と男のあした」



結婚し子供を育てながら働くのは易しいことではない。「辞めたほうがいいのでは」と何度も思ったが、その度に夫の「辞めることはいつでもできるんだから、もう少し頑張ったら」という言葉に励まされた。家族の励ましがなければ、続かなかっただろう。

職場でも同じこと。男性の協力は必要だ。そして“協力してもらおう”ように仕向けることが大切。例えば、私が労働省で働いていたころ、省内の女性が集まり、上司を招いての懇談を開いた。私の後から少しずつ女性を採用するようになったとはいえ、全体の数はごくわずか。しかも広い省内にバラバラに配属されていたのでお互いの顔もなかなか憶えることが出来ない。集まって会を持つことでお互いの悩みなども打ち明けられるし、上司には「これだけたくさんの女性が省内にいるんだ」ということを印象づけ、私たちの考えていることを伝えるきっかけにもなった。

(森山真弓氏発言より)

○パネリストは、森山真弓・世界婦人会議日本政府首席代表(左から2人目)の他、大庭みな子氏、黒井千次氏、マリ・クリスチヌ氏。司会は深尾凱子・読売新聞編集委員。



■ 86年11月開催、江の島会議「地域に生きる、文化を創る一女たちは、いま」



■ 87年11月開催、江の島会議「今を生きる、明日をつくる」ゲストに大島渚氏、俵万智氏、司会に樋口恵子氏を迎えたこの企画には申込みが殺到。

「夜明けの航跡」出版記念シンポジウム (87年11月)

●新聞の紹介記事からー

心打つ近代女性の証言集—明治から終戦までの近代史を生きてきた無名の女たち約八十人の証言を県内女性史研究グループが取材、編集した「ひたむきの年輪」が圧巻。女性を中心に編さんされた前年の年表や解説と併せ読むと、貧しさにあえぎながらたくましく時代と立ち向かった庶民の実像をくつきりと知ることができる。

(東京新聞 62・11・24)





■ 88年11月開催、江の島会議「新しい絆—ともに生きるネットワーク」



■ '88 江の島会議では、会場からの事例発表も多数行われた。



■ 88年、「二十一世紀に向かって女と男の行き方、暮らし方」をテーマに「女性問題を考える」論文募集を行った。110編の応募があり、12人が入賞者として表彰された。

全国女性交流会議

「21世紀へのウィメンズニューウェーブ」



■ 90年11月、2日間にわたり「全国女性交流会議」が開催された。



■ 約300人が6つの分科会に分かれて熱い討論をくり広げた。テーマは「女性の政策決定の場への参加をどうすすめるか」。参加者があふれた分科会も。

【日程】

- 11/9 10:00～12:00 ワークショップ
・身近なところから資源・環境を考える
・主婦と再就職 ・わいわい、がやがや
- 11/9 13:00～16:00
○ オープニングセレモニー
○ 分科会
1. 女性の政策決定の場への参加をどうすすめるか
2. 職場、地域、家庭のネットワークづくり
3. 「社会福祉サービス」はどうあるべきか
4. 「女性行動計画」をみんなの手で
5. 女性の情報ネットワークを
6. 男女雇用機会均等法5年目の点検
- 11/9 16:00～ 交流パーティー
- 11/10 10:00～12:00
分科会報告・討議
講演 「90年代の女性運動—実質的平等に向けて—」
久場 嬉子（東京学芸大学教授）